

1月28日（火）福祉体験

社会福祉協議会の方々をお招きし、福祉体験を行いました。クラスごとに、車いす体験と高齢者体験を順番に行いました。車いすで、S字コースやボール運びコース、坂道・段差コースを体験し、自分で車いすを操作しました。また交代で介助役も体験しました。初めて車いすにふれる児童も多く、介助するときには、先に声をかけたりゆっくり動かしたりすると安心してもらえることを知りました。高齢者体験では、手足の重りや目が見えにくくなるゴーグルを着けました。買い物をしたり、階段の上り下りをしたり、新聞を読んだりなど、普段何気なく行っていることも、お年寄りの方にとっては大変なのだと感じていました。

車いす体験



段差は、前輪を浮かせて
進みます



低いところは手が届きにくいね



曲がるときの操作にも
なれてきました



降りるときは、
後ろ向きでゆっくりと・・・

高齢者体験



手足が重いと、階段の
上り下りがつらいね



細かい字が全然読めない！



ゴーグルをつけて、普段との
見え方と比べてみよう



軍手をつけた状態で
小銭を払います